

呉 WAVE 創造委員会

委員長 内富 竜也

〔スローガン〕

ともにはじめる共感の波

〔基本方針〕

私は呉青年会議所に入会し、呉のために行う事業とそれを実現するために努力する人々を数多く見てきた。彼らはただ純粹に、呉のまちを住み良いまちに、私たちの生活する愛すべきまちを明るい豊かなまちに、その思いで活動していた。きっかけは人それぞれだが私の場合、事業を通じて仲間意識や一体感を共感し、やりがいを感じることで、活動に対する動機を持つことができた。これは実際に体験してみなければわからないことであった。

現代の私たちは、十分に整った行政や民間サービスの中で生活をしている。特に若者において、インターネットや携帯電話の発達により、地域との繋がりを必要とせず、ネット上での繋がりを求める傾向が強くなった。これにより個人の地域に対する帰属意識が失われ、まちの抱える様々な問題を他人事のように感じ、自らの手でまちづくりを行うという社会活動意欲が薄れているように考える。事実、内閣府の調査では、地域活動への参加率は年齢が若くなるにつれて低くなっている。

この若者が、地域との繋がりを取り戻し、まちの問題を自分事と捉え、行動するようになれば、魅力的で住みよい呉のまちが実現するのではないか。

そのために、まちづくり事業を呉の若者と共に作り上げ、実際に体験してもらうことで得られた共感によって、まちについて考え行動できる若者を増やす。そして将来的に、地域に根付いた若者自らの手で行うまちづくりが共感の波を巻き起こし、多くの能動的市民が溢れる力強い呉のまちが実現するだろう。

昨年、呉のまちを襲った未曾有の大災害。呉のまちは現在、復興という共通の目的に向かって動いている。復興元年となる本年、当委員会は呉市復興の一助となる事業を行い、市民の復興に対する気運を高めていく。そして、その気運を基に若者と協力してまちづくり事業を展開していく。若者と共に作る魅力的な事業による共感の波で、より多くの市民を巻き込んでいき能動的呉市民を増やしていくのである。これらの事業を当委員会が中心となり、呉市民と共に活力溢れる力強いまちづくりに邁進していく所存である。

〔事業計画〕

1. 事業名：3月担当例会
目的：当委員会が行う事業プラン及び目的を周知し、メンバーへの理解と協力を仰ぐ
方法：委員会プレゼンテーション

2. 事業名：5月担当例会
目的：当委員会が行う事業プラン及び目的を周知し、事業への協力を仰ぐ
方法：委員会プレゼンテーション

3. 事業名：呉 WAVE 創造事業Ⅰ（仮）
目的：呉市民の復興に対する気運を高める
方法：参加・体験型事業

4. 事業名：呉 WAVE 創造事業Ⅱ（仮）
目的：呉市民を巻き込み、魅力ある事業で共感を得、能動的市民となるためのきっかけをつくる
方法：参加・体験型事業

5. その他